

ワコールグループの歴史

創業者 塚本幸一は「生かされている人生を、世のため人のために尽くそう」と考え、「女性が美しくしていられる社会こそ平和な社会」という信念に基づき会社を設立しました。「すべての人々に美しくなって貰うことによって、広く社会に寄与する」という目標を実現するために『相互信頼』経営が不可欠であり、すべてのステークホルダーから信頼される会社にならなければならない、という創業者の想いがベースとなり、長い歴史の中で幾多の困難を乗り越えてきました。

経営の確立



創業者 塚本幸一

1946 創業の日

1946年6月15日、第二次世界大戦の過酷な戦闘から奇跡的に生還した創業者 塚本幸一は、京都の自宅へ帰着いたこの日から、婦人装身具の商売を始めました。これが、ワコールの創業日となっています。

創業当初の商号は『和江商事』。1949年に、塚本幸一の「日本の女性を美しくしたい」という強い思いと、『ブラパット』が出会い、事業に決定的な飛躍をもたらし、世界を視野に入れた婦人洋装下着メーカー和江商事を設立しました。

1962 相互信頼経営の確立

労使関係が大きな課題であった1962年、創業者である塚本幸一は出光興産の出光佐三社長の講演を聞いて、強い感動を覚えます。「人間尊重を口にするなら社長がまず組合を信じることだ」と考えた創業者は、遅刻早退などを社員の自主精神にゆだねるという『相互信頼』経営を断行します。これにより社内の雰囲気は一新し、会社のさらなる成長を生む、精神的な基盤となりました。

研究所創設



1960年代後半の体型計測の様子

1964 人間科学研究の開始

1964年、日本女性の体型にぴったり合う製品をつくるため東京浅草橋に新たにオープンしたビルに『製品研究部』を設置して、人間工学に基づいた日本女性の体型計測と研究を本格的にスタートさせました。ブラジャーのサイズ体系を確立させたほか、人体計測データの集積やそれに基づいた女性の理想的体型の数値化を行いました。製品研究部はやがて「人間科学研究所」に発展し、体型データの収集のみならず、感覚、生理、動作に至るまで研究領域を拡大していきます。

国内販売

1950 百貨店への出店

1975 量販店チャネルの開拓

2001 直営店事業の開始



量販店の「ウイング」売場

1970年代、量販店は衣料品の売上高で百貨店を抜き、巨大な流通チャネルに成長しました。ノンブランドの製品を大量に販売する手法から、ナショナルブランドの安売りに舵を切り始めたことがワコールの転機でもありました。大手量販店との交渉を続けた結果、専用売場の開設と販売価格の尊重という条件を前提に、量販店のランジェリー売場に、ナショナルブランド「ウイング」が並びました。



高島屋京都店の売場

1950年、百貨店として初めて高島屋京都店にワコールの女性下着売場がオープンしました。日本女性の装いが和装から洋装へと大きく転換する機会を捉え、ワコールは婦人洋装下着を自らデザインし、自社工場での製造を開始しました。経済高度成長期から女性の生活の質・おしゃれへの関心が高まる中、ニーズに応えるさまざまな製品を生みだします。



直営店「AMPHI」

百貨店や量販店の相対的地位が低下し、ファッションビルや駅ビル、ショッピングモールが台頭する中、ワコールは2001年に初のSPA型直営店「Subito」を東京・原宿にオープンしました。その後、購買客層や立地特性に合わせた複数のショップフォーマットを相次いで展開し、顧客の拡大に挑み続けています。

海外販売

1981 海外市場の拡大

1995 米国で悲願の黒字化

2012 ヨーロッパ市場での本格展開



米国ワコールのオフィスが入居しているビル

1981年、米国に現地法人Wacoal America, Inc.（現ワコールインターナショナル株式会社）を設立。1983年、香港に現地法人株式会社ホンコンワコールを設立したほか、日本のアパレル企業として初めて中国に合併会社を設立しました。現地に根差した独自の海外事業展開により、世界のワコールの礎が築かれます。

米国市場への参入以降、在庫と販管費が膨らんだことにより業績の低迷が長年続きました。それでも、自社工場の品質改善を進めつつ、販売価格の維持とコンサルティング販売を貫いた結果、1995年に初めて単年度黒字化を達成しました。



ワコールヨーロッパのファッションショーの様子

2012年、ヨーロッパの事業拡大を目指し、イギリスに本社を置き、幅広い体型やサイズに対応したブランドを複数有するイヴイデン社（現ワコールヨーロッパ）を子会社化しました。ここからイギリスやユーロ圏でのプレゼンスは一気に拡大します。ブランドポートフォリオの見直しなど、買収後の事業統合も完了し、より強固な収益基盤を築きつつあります。